

NTスラリー瓦 塗り替え工法 カタログ

【改訂第4版】

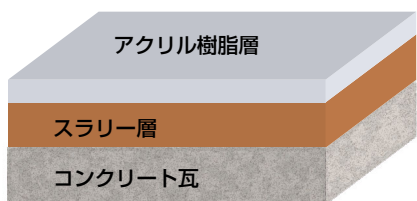
スラリー瓦の塗り替えを 可能にする



脆弱なスラリー層を強固に補強し、強い下地を形成。

スラリー瓦とは？

コンクリート瓦へ着色セメントペースト(スラリー)が塗布された瓦を「スラリー瓦」と呼んでいます(新品のスラリー瓦には表層に1液アクリルクリヤーが塗布されています)。スラリー瓦には「モニエル瓦」「クボタ洋瓦(パラマウント、パラシェイク)」「スカンジア瓦」などがあります。

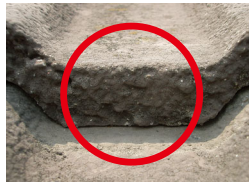


【瓦の判別】瓦の識別は、スラリー瓦塗替え工法のポイントです。

①瓦小口部で確認する方法

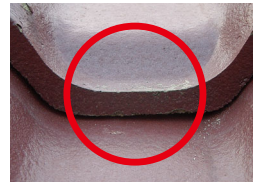
スラリー瓦は、生産工程で小口部分(水垂部)に凹凸ができます。また、瓦表面にも凹凸があります。見分けるポイントは、右の写真のように、前小口のみでほぼ見分けがつきます。

●スラリー瓦前小口



前小口が凸凹

●一般瓦前小口



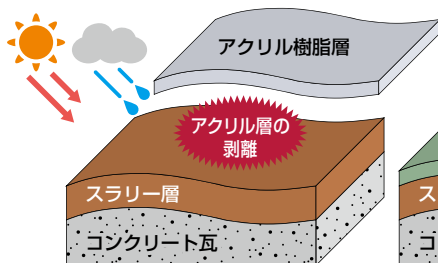
前小口がフラット

②瓦表面で確認する方法

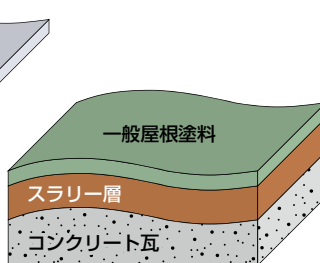
塗り替え時期になったスラリー瓦は表面の着色スラリー層がもろくなっているため、釘やカワスキで瓦表面を軽くひかくと着色スラリー層がボロボロと取れます。

スラリー瓦の劣化

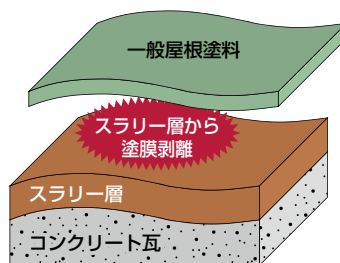
「スラリー瓦」は、塗り替え工事が困難とされていました。長年の太陽光や風雨によりアクリル層が剥離し、むき出しになったスラリー層の脆弱化がさらに進行します。スラリー層表面の強度不足で、塗装しても早期剥離が問題視されるためです。



●アクリル層の剥離とスラリー層の劣化



●一般の屋根用塗料を施工

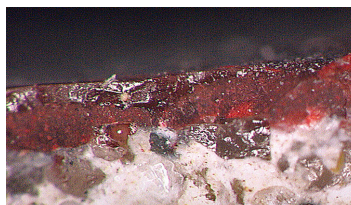


●脆弱になったスラリー層から塗膜剥離

特長

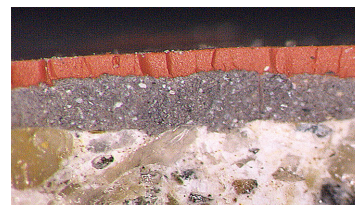
1 脆弱な下地を強化します

特殊なシーラーと施工方法により、剥離の原因となる脆弱化したスラリー層を浸透強化。強固な下地をつくります。



▲NTスラリー瓦用シーラー

※含浸性がわかるように染料で着色しています。



▲他社スラリー瓦用塗料

2 塗膜の高密着性

専用シーラーがスラリー層の下にあるコンクリート基材まで浸透固着。上塗り・スラリー層・コンクリート基材を長期的に密着し、塗膜の剥離を防ぎます。

3 安心の施工体制で確実に施工します

工事施工は認定試験に合格した当社指定の専門業者が行います。

適用上塗り

- パラサーモシリーズ
- リリーフNADシリーズ

※「ニットクの屋根用塗料シリーズ」標準色見本帳や「ニットクの屋根用遮熱塗料パラサーモシリーズ」標準色見本帳をご参照ください。

容量

- NTスラリー瓦用シーラー……………16kgセット(A液:14kg B液:2kg)
- 調合比 A液:B液=7:1

標準塗装仕様

●上塗りは適用上塗りからお選びいただき、各色見本帳をご参照ください。

工程	材料の調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/㎡)	施工間隔 (23℃)		
下地調整	● 高圧水洗浄(水圧8～12MPa)でホコリやコケなどを充分に洗浄し、脆弱なスラリー層を除去してください。また、コケなど 取れにくい場合ワイヤーブラシなどで撤去してください。 ● コケなどが残った場合、プライマーの付着不良を起こしますので完全に取り除いてください。							
シーラー	●NTスラリー瓦用シーラー A液 14kg ●NTスラリー瓦用シーラー B液 2kg	1～3 回	●ローラー ●刷毛	8時間	0.3～0.5*	12時間以上 72時間以内		
上 塗 り	フッ素樹脂系	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間	0.13～0.16	●リリーフNADフッ素 A液14kg ●リリーフNADフッ素 B液 2kg ●NT塗料用シンナーA0～1kg	2時間以上 72時間以内	
						●バラサーモF A液14kg ●バラサーモF B液 2kg ●NT塗料用シンナーA0～1kg	3時間以上 72時間以内	
						●リリーフNADシリコン A液14kg ●リリーフNADシリコン B液2kg ●NT塗料用シンナーA0～1kg	2時間以上 72時間以内	
	シリコン樹脂系					●バラサーモSi14kg ●バラサーモSi 2kg ●NT塗料用シンナーA0～1kg	3時間以上 72時間以内	
						ウレタン樹脂系	●リリーフNADウレタンN A液14kg ●リリーフNADウレタンN B液2kg ●NT塗料用シンナーA0～1kg	2時間以上 72時間以内
							●バラサーモU14kg ●バラサーモU2kg ●NT塗料用シンナーA0～1kg	3時間以上 72時間以内

注:NTスラリー瓦用シーラーは調合、かくはん後、20分程度静置し、反応させた後に施工してください。

●上記上塗り各種をスプレー施工する場合の希釈は16kgセットに対して0～2kgとしてください。

●上塗りの各塗料は夏場、暑さで可使時間が短くなり「2時間」程度になります。夏場はA液とB液のかくはん後、必ず「2時間以内」に使い切るようにしてください。

●リリーフNADシリコン、パラサーモSi、リリーフNADフッ素、パラサーモFは、35℃以上の場合、猛暑型B液をご使用ください。

※シーラー下塗りの施工は、瓦表面にシーラーが付き、シーラーのつやが出るまで施工してください。スラリー層の厚みにもよりますが、通常の1回塗りでは瓦表面にシーラーは浮いてきません。施工間隔をあけずに2回、3回と追っかけて塗り重ねてください。また、すでにつやが出た箇所への過剰な塗り重ねは付着不良など、不具合の原因となりますのでご注意ください。

スラリー瓦洗浄前の状態



高圧水洗浄後の状態



NTスラリー瓦用シーラーを施工
(表面がピカピカになるまで塗装した状態)



●シーラー乾燥後にガムテープを塗装面に貼り付けし、その後、剥がしたとき粘着面に着色スラリー層が付着していないことを確認してください。ガムテープに着色スラリー層が付着する場合は、シーラーを再度施工してください。

注)シーラーの使用量が不足している場合は基材への浸透不足により、下地の強化がされず効果が出ません。

「NTスラリー瓦塗替え工法」施工上の注意事項

■下地条件・処理の注意事項

- 高圧水洗浄やスプレー施工では、周辺の状況をよく確認し十分に養生を行ってください。
- 屋根施工において、漏水がある場合や予測される場合は、下地調整前に確認し、適切な対策を行ってください。
- 高圧水洗浄は圧力とノズル距離を正しくとり、確実に行ってください。
- 高圧水洗浄ができない場合はホースで水を流しながらワイヤーブラシなどを用いて塵、ホコリ、藻、コケ、かび類を完全に除去してください。
- 高圧水洗浄時にスラリー層が全面剥離または部分剥離した場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 脆弱なスラリー層はできるだけ取り除いてください。
- 油分が付着している場合は除去してください。
- 水洗い後は1日以上乾燥させてください。各工程では、雨や露などで濡れている場合は十分に乾燥させてから施工してください。
- シリコン樹脂塗料やフッ素樹脂塗料、無機塗料、アルミ使用塗料、光触媒塗料が施工されている場合、施工しないでください。
- 塩ビ鋼板や塩ビシート、パイプなど可塑性を含む基材、プラスチックには施工できません。
- 瓦の破損やズレ、役物の釘浮きなどの確認を行い、瓦の取り換えや補修が必要な場合は適切に処理してください。
- 2回目の改修工事の場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 常時結露の発生する恐れのある場所や換気が不十分な場所での施工は避けてください。
- 本製品は、金属用塗料ではありません。各種金属に適合したプライマーを施工してください。金属にサビが生じている場所は、ケレン、脱脂後、金属用のプライマーを施工してください。

■施工環境・仕様・調合に関する注意事項

- 本製品は標準塗装仕様書に従って施工してください。塗装仕様は、あくまで「標準」的な仕様であり、下地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより使用量や可使時間などに多少幅が生じることがあります。
- 屋外での塗装では、強風、降雨、降雪、強風、結露が予

- 想される場合や気温が5℃以下、湿度80%以上での塗装は避けてください。未乾燥状態で水分の影響を受けるとつや引け、造膜不良、白化、付着不良、変色などの現象が発生し、仕上りが悪くなるばかりか性能が発揮されません。特に冬季は乾燥に時間がかかりますので、乾燥までの時間を考慮して作業を終了してください。気温が5℃以上でも気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。
- 山間部、あるいは夜露の早く降りる地域では早めに施工を終了し、十分に乾燥時間を確保してください。光沢低下、フクレ、割れ、ハガレの原因になります。
- 塗料の調合は、必ず、秤を用いて標準施工仕様書の配合比で調合し、電動かくはん機などで充分にかくはんしてから施工してください。
- 塗料を小分けして使用する場合はA液を充分にかくはんして均一の状態にしてから分けてください。
- 角缶内でA液、B液など複数の塗料を混合かくはんする時は、缶の隅や底、側面の塗料が混合されていない場合があります。注意してかくはんを行ってください。
- 本製品以外の他の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- 塗料を調合し時間が経過した反応硬化が進んだ塗料と新たに調合した塗料を混合しないでください。施工不良を生じることがあります。可使時間が短くなった、ゲルブツなどを生じる場合もあります。

■施工に関する注意事項

- 一度調合した塗料は必ず可使時間内に使用してください。可使時間を過ぎた塗料は使用しないでください。作業性、付着力の低下や仕上りなどが悪くなります。なお、可使時間は、塗料温度と雰囲気温度に依存します。夏季は特に短くなりますのでご注意ください。
- 施工間隔が一定以上経過した場合、次工程の塗料の付着が低下します。施工間隔を守って施工してください。施工間隔が、標準施工仕様書に規定された時間以上経過した場合は、目粗しなどの処理をし、再施工してください。
- 各工程の塗料は、塗り残しが無いように施工してください。
- シーラー施工時の基材は吸い込みがありますので、場

- 合によっては1～3回塗装となる場合があります。1回の使用量は上限0.5kg/㎡以下としてください。
- 下地の劣化が激しく吸い込みが多く、シーラー施工が1回に0.5kg/㎡を超える場合は、施工間隔(3～72時間)をあけて、シーラーの2回目を施工してください。上塗り施工時は、乾燥していることを確認して施工してください。
- 材料を使用した缶などは使いまわしをしないでください。混合の都度、新品を用いるか、きれいに洗浄、乾燥を行った後に使用してください(反応硬化が進んだ塗料と混入した場合は、不具合が生じることがあります)。
- 各工程において、施工間隔や塗り重ね時間を守ってください。施工間隔は、気温により変わります。塗膜の硬化が不十分な状態で上塗りを施工するリフティング(塗膜のチヂミ)を起こします。また、施工間隔があくと付着性が悪くなります。
- シーラーは、たまりができないように施工してください。たまりができた場合は、刷毛やローラーで余剰分を取り除いてください。厚塗りにすると硬化乾燥が遅れるばかりか、塗膜のフクレや剥離の原因になります。
- ローラー、刷毛などは、ほかの塗料と混合して使用すると、ハジキなどが発生する恐れがあります。十分に洗浄するか、混合しないでご使用ください。
- 上塗りにクリアー塗料の使用は避けてください。紫外線の透過によりシーラー層が劣化し、はく離の原因になります。
- シーリング面への塗装は塗膜の汚染や剥離、収縮割れが発生する場合がありますので行わないでください。
- 屋根材の重なり部分に塗料がたまりと漏水などの原因になりますので、必ず縁切りを行なってください。
- 施工器具は、使用後、速やかにエポキシシンナー等で洗浄してください。
- 塗料は用途・用法を守り、各上塗りの個別カタログや説明書もよくお読みになり正しくご使用ください。ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所にお問い合わせください。

「NTスラリー瓦塗替え工法」取り扱い上の注意事項(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合ABC粉末消火器にて消火するなど適切な手段を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 安全衛生上の観点から、取り扱い中は皮膚に触れないようにし、有機溶剤の蒸気を吸わないよう必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋、および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器(取っ手を含む)はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください。偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。

- 目に入った場合は多量の水で洗い、すみやかに医師の診察を受けてください。
- 誤って口に入った場合は、口を水でよくすすぎ、すみやかに医師の手当てを受けてください。飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流したのち中性石鹸と水で十分に洗ってください。痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。作業着などに付着した場合は、すみやかに着替えを行ってください。
- 皮膚障害、呼吸障害がみられる場合は、医師の診断を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- エポキシ樹脂塗料は体質により皮膚障害などの感受性を受ける場合があります。医師の指導を受け必要な措置を講じてください。
- 本製品の保管は必ずフタをし、雨露や直射日光の当たらない換気の良い室温5℃以下、40℃以上にならない屋内で保管してください。凍結を避けてください。現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当た

- ない、風通しの良い涼しい場所で保管してください。夏季に車内での保管や高温になる場所での保管は危険ですので避けてください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、洗浄液や廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は、揮発性の化学物質(有機溶剤など)を含有し、臭気が発生します。あらかじめ元請や施工主への説明を行い、了解を得てください。臭気が周辺にある物に付着する場合があります。付着が予想されるものは、施工箇所からできるだけ遠ざけ、屋内に揮発成分が流入しないように養生を行ってください。また、化学物質過敏症やアレルギー体質の方がいる場合には本製品との接触や施工を避けてください。
- 本製品の取り扱い並びに輸送及び保管については、労働安全衛生法や消防法、道路運送車両法、船舶安全法、港則法などの各種適用法令を遵守してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル、安全データシート(SDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

 日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2

神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10

中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12

大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12

中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13

九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726

☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323

☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739

☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124

☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560

☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256

☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>

塗装仕様等、使い方の詳細情報は
こちらをご確認ください。
設計・工事監理者および工事請負
者は、必ずご確認ください。

